

● 実施の目的

加茂市を「どんなまちにしたいか」、「そのために必要な取組（市民と行政の役割）は何か」について、行政と市民が一緒に考えて話し合う場を機会をつくり、総合計画策定の参考資料とします。

	前回		
実施日	①令和2年9月26日	②令和2年10月10日	③令和2年10月24日
募集方法	広報誌やホームページで広く募集		
参加者数	市民29人、職員7人	市民32人、職員9人	市民21人、職員7人

	今回
実施日時	令和6年10月19日
募集方法	16歳以上の市民1,000人を無作為抽出し、ワークショップ参加者を募集
参加者数	市民11人、職員4人

市民ワークショップの実施概要

- 話し合いのテーマ

「市民アンケート調査から見た加茂市の現状と課題」

(1) 観察された「取組」の満足度と重要度の変化について
思い当たること・気づいたこと

(2) 重要度は高いが満足度が低い取組の満足度をどうすれば
上げられるか

- 話し合いの単位

参加者15人を5人ずつの3グループに振り分けグループワークを行いました。

市民ワークショップの実施報告

- テーマ(1)観察された「取組」の満足度と重要度の変化について
思い当たること・気づいたこと
- ① 満足度または重要度が高まった取組
 - ゴミの取組（ゴミ袋の透明化や分別の細分化の推進）
 - 公共交通（かもんバス、かもんタクシーへの再編）
 - 行財政運営（ふるさと納税による収増）
 - 観光（商店街イベントの増加による活性化）
 - 災害対策（防災訓練の実施）
 - 雪対策（除雪車の位置情報システムの導入による見える化）
- ② 満足度または重要度が下がった取組
 - 子育て支援（こどもが楽しめる施設が少ない）
 - 介護（サービスの有料化）
 - 農業振興（後継者不足）

市民ワークショップの実施報告

- テーマ(2)重要度は高いが満足度が低い取組の満足度をどうすれば
上げられるか
- 選んだ取組「地域経済振興」
 - ① 市民ができること
 - イベントの企画、参加
 - 加茂市を市外へPRする
 - 市内企業を利用する（地域内での経済循環）
 - ② 行政がすべきこと
 - マスメディアとの連携、PR強化
 - 企業誘致
 - 起業支援、市内企業への伴走支援
 - ふるさと納税に注力